

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の
天然記念物

関係のある情報

【場所】新見市千屋花見
【時代】樹齢約700年
【指定年月日】昭和44年9月25日
【所有】個人
【見学】可



ほおのきはらのほおのき

ほおのき原のホオノキ

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



この天然記念物について

このホオノキは、樹高約20mで、根元から7本の枝を分岐して、東西南北にそれぞれ約30mの延びをみせています。根元周囲は約11m、最も大きい分枝は周囲約2mあり、樹齢は約700年と推定されます。

また、根元には摩利支天を祀る小祠があり、言い伝えによると、付近に赤坂城があり、そこに武将の柴田弥衛門という尼子氏の旗頭が土着し、柴田氏の鎮守の祠を祀り、その傍らにあったホウノキが成長したといわれています。この巨木にちなんで付近一帯を「ほうのき原」といい、この地にある家の屋号も古くから「ほおのき原」と呼ばれています。